

理事会便り

第 5 回理事会 (10 月 28 日 本部会議室)

議決事項

1. 「規程の管理に関する規則」の制定について
規約・規則・規程などの「規程」の種類・定義・管理の方法などについての規則の制定を決めました。
2. 文書管理規則の制定について
生協内にある文書・電子文書の整理・保管・廃棄などの規則の制定を決めました。
3. 「どう生きる 100 歳時代」の開催について
「どう生きる 100 歳時代・おたっしや講座」を地区単位に開催することを決めました。

報告事項 (主な報告より抜粋)

1. 冬季賞与の支給について
常勤・非常勤職員の賞与を 12 月 15 日に支給します。
2. 次年度の事業計画作成の進め方 について
次年度の事業計画は 3 月末の理事会で議決できるようにすすめます。

第 6 理事会 (11 月 22 日 本部会議室)

議決事項

1. 理事報酬規程・監事報酬規程の全面改定について
二つの規程を「役員報酬規則」として一つに改定し、役員報酬委員会の設置や、報酬基準の明記、「理事会出席手当」から「理事の役割・責任に対する報酬」とすることを決めました。
2. 「連合会の自立と会費についての考え方」に対する意見
高齢者生協連合会から、「連合会の自立と会費値上げ」に対して、自立には賛成するが、現在の 100 万円の年会費を 160 万円以上に上げる提案について、反対する旨の意見を提出することを決めました。

報告事項 (主な報告より抜粋)

1. いたどデイに「緊急泊り」の実施について
新たなサービスとして、利用者家族の「急な用事が出来た時に泊らせて欲しい」との要望に応える事業を実施します。年内に準備し、来年の 1 月 4 日の営業より実施します。
2. 介護保険制度改定に伴う事業戦略の検討について
次年度から改定される介護保険制度の内容の学習会と事業の検討会を、12 月～2 月にかけて行い、次年度の事業計画と予算に反映させます。

和歌山県紀南地域水害被災者支援募金の結果

28,747 円が寄せられ、和歌山高齢者生協にお送りしました。



NO.139

発行責任者

桑原 龍太

2012 年 1 月号

神奈川高齢者生活協同組合

かがやいて

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10

関内駅前マークビル 5 階

kanagawk@roukyou.gr.jp

<http://kn-kourei.jp>



いたど訪問・通所事業所の職員



神奈川高齢者生協の組合員の皆さん
新年おめでとうございませう。

理事長 桑原 龍太

去年は東日本大震災や、原子力発電所の事故で、本当に厳しい年になってしまいました。今年こそはそれを乗り越え、復興への一歩を踏み出す明るい年にしたいものです。平成 24 年は 3 年毎に行われる介護保険制度見直しの年になります。提案されている改正案の味をみると、介護される高齢者にとっても、介護する事業者にとっても、とても満足出来るものとはいえません。厳しい国の財政事情の中で、増加する高齢者の要求を満たすのは容易ではないと思いますが、高度な福祉国家を目指して、政府の一層の努力が望まれます。私たち高齢者生協としても、今後制度の改善を要求していくとともに、新しい制度の下で、どうしたら元気な高齢者を励まし、質の良いサービスを提供できるかを研究し、工夫しながら、努力をしていきたいと思っています。

ケアステーションいたど通所介護事業所で、 1 月より「緊急泊り」の新たなサービスを開始します

【サービス内容】

利用者家族の緊急の泊まりニーズにお応えします。

① 緊急お泊りは

連泊は2泊3日を原則とし、当日と翌日の通所サービスをご利用頂きます。

② 利用料金

1泊 7000円 タ・朝食込。
排泄・食事介助など、必要な介助サービスを行います。

③ 利用者の対象

いたど通所サービスを利用されていて、通い慣れた方を対象とさせて頂きます。当日体調が悪い場合は、お断りする場合があります。

④ スタッフ体制

緊急の連絡体制も整え、常時1名以上の顔見知りのスタッフが介助サービスと見守りを行います。

詳細はいたど通所介護事業所にご相談下さい。



いたど通所介護事業所の パワーリハビリの器械を 最新の器械に入れ替えました。



膝関節の周りの筋力を
活性化させます。



下肢全般のパワーを
活性化させます。



腹筋と背筋の機能を
活性化します。



骨盤を支える内腿とお
尻の筋力を活性化さ
せます。

6種の新マシンに、運動能力を測定
する測定器を導入しました。
パワーハイクラブで、一般の方もご利用
頂けます。

「どう生きる 100 歳時代・おたっしや講座」のお知らせ

相模原会場

日時 3月4日(日) 13時30分～16時
会場 相模原市産業会館「多目的室」
内容 気功を取り入れた「転倒予防体操」
講師 気功太極拳師範 山田ひろ子氏

伊勢原会場 会場は3回とも「いたど通所事業所」で開催します

第1回 1月21日(土) 13時～15時
「骨密度測定」と「骨折予防のための栄養指導」
講師 伊勢原市保健士 阿部氏
第2回 2月11日(土) 時間未定
「ヨガ教室」
講師 野沢 益美氏 (いたどデイスタッフ)
第3回 3月 未定
「ダイヤビクス体操」を予定



今朝の句

天高く山ふつくらと深呼吸

天上は、大漁なりや鰯雲

気負いなく生きて悔いなし四囲紅葉

五島綾子

「特定給食施設における食品衛生について」の
研修会に参加して

厨房担当 田島美智子

特に印象深かったことは、カラフルフーディングの考え方でした。「食材の色に合う食器」を使用する、「まくら」を置き立体感を出す盛りつけ方のテクニックなど、食べる人の食欲活性化につながる工夫が様々あることを知り、是非今後に生かしていきたいと思いました。また食品衛生に関して、改めて衛生管理を見直し、徹底に努め、楽しみ、喜びのある食事の提供に貢献できればと思います。



さがみはらケアステーション

あやとり

相模原市中央区千代田1-1-1千代田ビル 302

☎ 042-750-7758

普通救命講習会を

開催しました

11 月 27 日、消防署の協力を頂き、救命講習会を開催しました。ヘルパーと福祉移送の運転手合計 20 名が参加しました。

まずDVDを30分見て、心肺停止から救急車が到着する 6～7 分間に、心肺蘇生と AED を使用すると救命率が格段に上がると説明を受けました。

その後 2 グループに分かれ、一人ずつ心肺蘇生と AED 使用の実技指導を受け、最後にもう一度 5 分間の効果測定があり、緊張し腕に力が入り過ぎたり、汗をかきながらも全員無事修了証をもらいました。いざという時に利用者宅や自宅で AED がどこにあるかと考えてみましたが、近くのコンビニに設置されていればとても助かると思いました。一部のコンビニには既にあるそうですが、自宅近くのお店にない残念です。



川崎北部訪問介護ステーションはなみずき福祉移送をスタート



平成 15 年 1 月 1 日に川崎北部訪問介護ステーションはなみずきは、産声をあげて今年で 10 年目を迎えようとしています。幾多の苦難の道を歩んできましたが、皆々さんの温かいご支援とご協力をいただきながら成長してまいりました。サービス内容も介護保険（介護予防含む）、居宅介護支援、障害者自立支援（居宅介護、行動援護、重度訪問、移動支援、ふれあい）の制度事業の他に自由契約、孫の手、お墓の掃除、施設内のシーツ交換を実施しています。

そして今年 1 月から福祉移送をスタートすることになりました。

今までは、川崎送迎部が運営していましたが、はなみずきが引き継ぐことになりました。利用者さまには現状維持の運営をしてまいりますので、ご安心下さい。はなみずきは、さらなる総合的なサービスを提供できる事業所として展開してまいります。このサービスに携わるスタッフも若い者、昔若かった者も含め約 50 名がお互いの協力し合い元気良く働いています。

今年も明るい、楽しい職場を目指してまいりますのでご協力お願いいたします。

管理者 江川 富子

お知らせ

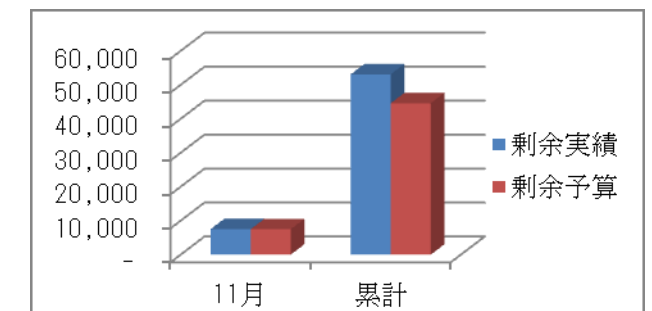
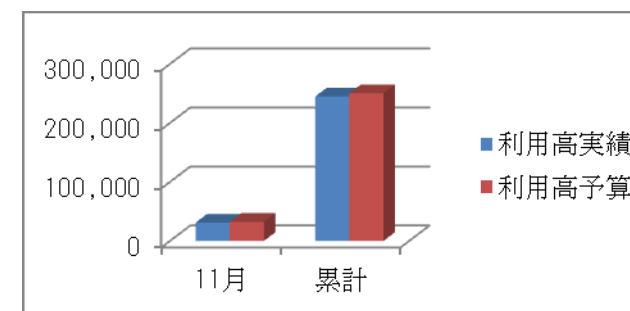
神奈川高齢者生協のホームページを全面リニューアルします。

2012 年 1 月から新しいホームページとなります。

神奈川高齢者生協で **検索** クリックして下さい。最新のニュースをお届けします。過去の

機関紙「かがやいて」も閲覧できます。

神奈川高齢者生協の 11 月度経営報告



11 月末の組合員数 1,892 名 出資金額 2,963 万円

11 月までの経営結果は、訪問介護事業の 3 事業所といたど配食事業、福祉移送事業の 3 事業所が利用高予算を達成させ、予算比 98%で推移しています。通所事業所の利用の伸び悩みがありますが、事業剰余は大きく予算を超えて推移しています。

事業所だより・・・

子どもたちと一緒に、笑顔がいっぱい



ケアステーション たむら通所介護 事業所

平塚市四ノ宮 7-12-27

☎0463-52-1052

10月27日、11月10日と神田小学校の2年生6人が授業の一環として、「たむら」にきてくれました。利用者さまと何をして過ごすか、紙芝居やおはじき、将棋などそれぞれに考えてきてくれたものや、肩たたきやお手伝いなどもしてくれ、普段はない子供たちの声や、やりとりに利用者さまたちからも笑顔がこぼれていました。



元気に運動会

たむらでは11月21日から一週間レクリエーションとして運動会を行いました。日頃の運動の成果をおもいきり発揮して頂こうと思い、毎年同じゲームにならないよう試行錯誤しながら上肢・下肢それぞれのゲームを取り入れました。

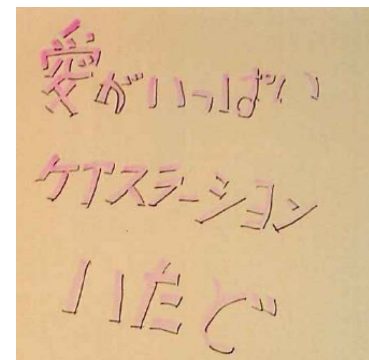
曜日別対抗バトンリレーや、個人戦、赤白に分かれて行うことで日頃お話をされない方同士で作戦を考えたり、声を掛け合ったりと、お互いに助け合い、喜びを分かち合っている姿を見せました。いつもあまり笑顔が見られない方も、とても楽しそうに笑っている姿を見せて下さり、スタッフもうれしく、楽しい一週間となりました。



ケアステーション いたど通所介護事業所

伊勢原市板戸477-21

4 - 878



いたど利用者さま
から釜石に励まし
のメッセージ

利用者さま50人で、東日本大震災で被災された方々に励ましのメッセージを送りました。絵手紙、一言手紙など、元気になって頂きたい気持ちを込めて一生懸命書きました。その後、釜石の方から、心温まるお返事を頂きました。



釜石から頂いたお返事

一枚のはがき

優しさにあふれ、温かさが伝わってくる、本当に、本当に。一枚のはがきの中に、人に対する温かい大切にしようとするおもいやり。

私もいつかこんなはがきを書いてみたいです。

